



北原邸 新築工事

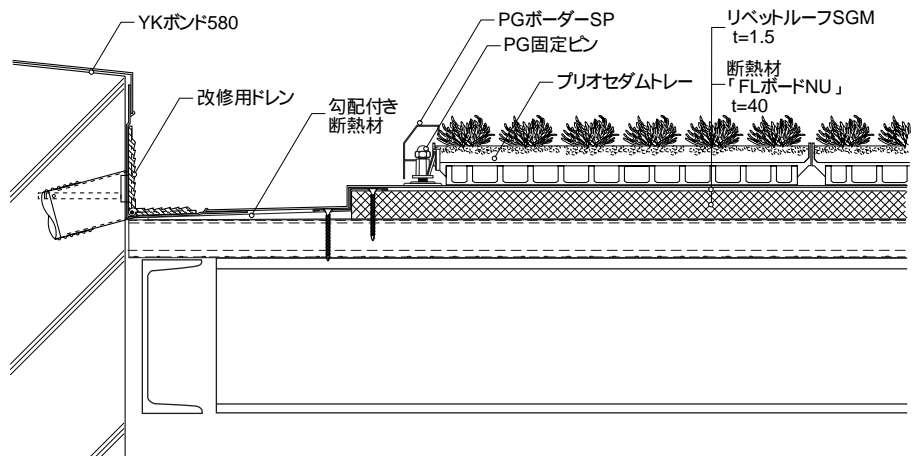
構造：RC造(一部S造)
 所在地：福岡県北九州市小倉北区
 発注：北原氏(個人)
 設計監理：株式会社洋建築計画事務所
 施工：株式会社寿工務店
 施工時期：H15.6~8
 防水施工：株式会社工材社
 仕様・規模：MIHFD-SGM15NU:60m²
 MIH-SGM15NU:150m²
 F-SGM20:40m²
 プリオセダム:60m²

選定された理由

構造上屋根の軽量化を計りたい、屋上に意匠的に緑化を取り入れたい。設計事務所からのこれら2点の要求事項があり、それらを考慮し、リベットルーフLCS工法とプリオセダムトレイ工法が選定された。

施工のポイント

デッキプレートの水下部分では、溝部に断熱材をカットした勾配断熱材を設置し水勾配を設けた。



建築設計士に聞く!

株式会社洋建築計画事務所 担当者 手柴勝也氏

設計時に周辺の景観に馴染むように建物緑化を提案した。施主からはメンテナンスをあまり気にせず屋上緑化ができるものが良いと要望があり、同時に断熱性能も期待できるプリオセダムを採用した。本物件は平屋建で陸屋根の為、施主が屋根を見下ろすことができないのが残念であったが、緑化に対する施主の反応は良好であった。LCS工法は屋根を軽量化できる上、パラペットの立上りが低く押さえられたことが良かった。また防水から植栽までの施工とメンテナンスに関して一体化して考えられる点も良いと思う。このように都市の中で個人が積極的に緑を取り入れて行くことで、地域全体の緑化に対する意識レベルが変わっていけば、もっと豊かな都市形成に結びつくのではないかと感じている。

本物件は関門海峡を見下ろす高台の閑静な住宅街にある個人邸。施主の居住空間の他に、商業空間を併設した建物である。

